

安来高校植物図鑑（2022年10月）

和名: ゲンショウコ（現の証拠）

2022年7月に紹介したアメリカフウロの仲間です。昔から良く効く薬草として知られており、必ず効果（証拠）が現れるから、ということでこの名前があります。腹痛や下痢がすぐ治るそうですが、本当でしょうか。医者いらず、という別名もあるそうです。この花は東日本では白色、西日本では紅紫色が多く分布しており、市販の図鑑によっては白色しか掲載されていない場合があります。西日本に住んでいる者にとっては写真だけではわからないかもしれませんね。めしべの先が5つに分かれ、おしべは10本、花卉が5枚で萼も5枚、果実も熟すと5つに裂けるそうです。完全に五放射相称の花だなと感心しました。動物でいうとウニやヒトデと同じ。



和名: アメリカセンダングサ（亜米利加梅檀草）



センダングサには仲間が多いですが、私の身の周りではこのアメリカセンダングサがほとんどのように思います。名前の通り、アメリカからやってきた帰化植物です。いわゆる「ひっつき虫」の仲間。種子ができるとその先端がトゲのようになり、人間の洋服にひっつくのです。小学校の時、先端部分をむしり取ってクラスメイトの背中にたくさん投げつけた思い出があります。梅檀（せんだん）という樹木と葉が似ているそうです。左の写真の、花のまわりで葉のように見える部分は実は総苞片であり、葉ではありませんのでお気をつけください。

和名: クワクサ（桑草）

花だと気付くまでにしばらく時間がかかりました。葉の付け根の花序と呼ばれる部分を拡大したのが左の写真です。左下の4つに裂けたような部分が雄花で、右上の赤いトゲが突き出ている部分が雌花です。小さくて、私自身も写真を撮ってみるまでその構造がよくわかりませんでした。葉が桑に似ているのだそうです。花が終わると全体的に紫色になっていきます。昨年初めてこの植物を見つけたときは、紫色になり葉が食い荒らされた個体だったので、正体がよくわかりませんでした。



この安来高校植物図鑑を作り始めたのは、2020年のいわゆるコロナ休校になった時です。学校に生徒がいなくて、教員は何をしてよいのかわからず、不可抗力で茫然としている時期でした。私に出来ることで、ほんの一瞬でも皆さんの心を癒せることはないかと、学校の庭に出て写真を撮ったのが最初でした。あれから逆に皆さんに励まされ続け、今回でちょうど100種類目の植物を紹介することが出来ました。皆さんのおかげです。ありがとうございます。